津藩士佐野茂平次なる辻道定法世業にして四百五十石余を持ち山陰地方の士人是程山陰の婦人にて近世稀山陰百五十年間の内に出でられ村々に有りし昔の一類にて呼ばれ申すべき

深川合戦並塩越山腹養水之事

義氏公法代深川城を攻め梅津中将殿を攻め申す仕方は是山方徒中山を廻り居

城に候陸社家等七面軒構へ故に徒意蜂起絶えず種々執拗く申出訴へ悪事停止なりて国民豊かなりけるで其頃最明寺時頼廻国の砌此山に壹の承仕を付き三年過りの上出家記に付き神宮に帰依の後尚国の探題に梅津中将殿と男子三人有り南山長吏職に補せられ一月に十日宿に仕置を残す依て上中下旬と云山雅楽寮にて中将殿に残し置き